



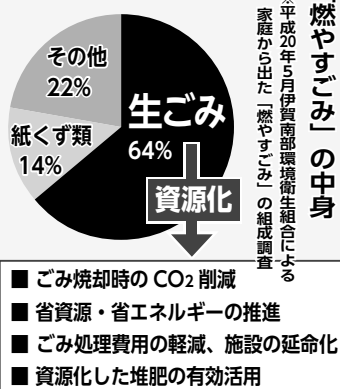
主 内容

- 1〜2……生ごみ資源収集試行モデル地区募集・アンケート結果
- 3……後期高齢者医療制度の保険料、年金通信
- 4……アドバンスコープ A D S ホール催物、やなせ宿催し

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp 🌐http://www.city.nabari.lg.jp

なぜ、生ごみの資源化なのか？

生ごみは「燃やすごみ」の約6割(重量比)を占めます。これを資源化することで、大幅にごみを減量できるとともに、水分を多く含んだ生ごみを燃やすための補助燃料の消費が少なくて済み、ごみ焼却時のCO₂削減、省資源・省エネルギー化、ごみ処理費用の軽減などを図ることができます。また、資源化した堆肥は、市民の皆さんに家庭菜園などで有効に活用していただけるよう配布の仕組みを検討します。



夏場の生ごみ資源収集試行モデル地区を募集

市では、生ごみの資源化に向けた取組みを進めており、昨年、一部地区で10月から12月まで生ごみの資源収集を試行しました。その際に実施したアンケートで、夏場の生ごみ資源収集を心配する声が多く寄せられました。

そこで、夏場(7月下旬〜9月中旬)にも生

ごみ資源収集を試行することにしましたので、ご協力いただけるモデル地区を募集します。

今後、夏場の試行での皆さんのご意見も踏まえながら、生ごみの資源化の本格実施に向け検討していきます。

☎環境対策室 ☎63-7496

募集の概要

市内の自治会や区など地区単位でお申し込みください

- 応募期限…7月6日迄
- 募集世帯…500世帯程度(地区単位)
- 実施期間…7月下旬〜9月中旬の約2ヵ月
- 排出方法…「燃やすごみ」週2回の収集のうち1回を生ごみ専用収集日として、従来のステーションに、生ごみ専用袋(無料で配布)を使用して排出していただきます。
- 夏場対策の試行実験…①ステーションの管理・ニオイ対策として、内袋を備えた生ごみ排出専用のペール(バケツ)をステーションに設置します。
- ②家庭での保管時の水切りや消臭のために木質チップを配布します。
- ③生ごみを保管・排出していただきやすいよう、ビニール袋や水切りネット、新聞紙などに生ごみを包んだまま指定袋に投入できるものとします。
- ④台所などでの保管用にステンレス製の三角コーナーを各世帯に1つ配布します。
- ★応募方法など詳しくは環境対策室(☎63-7496)へお問い合わせください。※個人でのお申し込みはできません。

昨年の生ごみ資源収集試行アンケート結果

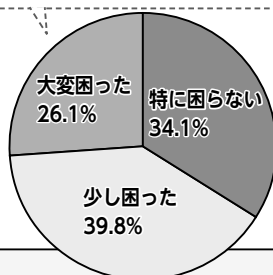
検証 1 生ごみをどのように収集するか？

>> 試行では、生ごみと「燃やすごみ」を週に1回ずつ収集しました

現在、「燃やすごみ」を週に2回収集しています。そのため、生ごみを週1回、「燃やすごみ」の収集を週1回とすれば、収集経費が増えることはありません。そこで、「燃やすごみ」の収集日を週に1回としましたが、「大変困った」「少し困った」と回答した世帯が6割以上となりました。

なお、生ごみ資源収集試行の参加世帯の割合は参加地区内で80.9%となり、1世帯あたり月に4kgの生ごみが排出されました(※1)。週1回の生ごみ専用収集日を設定した場合、市全体でみれば年間約1,200tの生ごみ排出が見込まれ、この分「燃やすごみ」が減ることになります(※2)。

「燃やすごみ」の収集日が週1回になって、困りましたか？



こんなど意見もいただきました



- ・おむつや、生理用品などを1週間保管するのが大変だった。
- ・「燃やすごみ」を出しそびれ、2週間分を保管するのが大変だった。
- ・天日干ししてみたり、消臭剤を購入したり、生ごみの保管方法を勉強できた。
- ・地域のごみ出しマナーが向上したと感じた。

昨年の資源収集試行の概要

- 実施期間…平成22年10月1日〜12月23日
- 実施地区…応募のあった23地区(1,963世帯)
- 排出日…週2回の「燃やすごみ」の収集日のうち1回を「生ごみ」専用収集日とし、残る1回の「燃やすごみ」の収集日は、従来どおり排出
- 排出方法…「フタ付水切りバケツ」(上写真)と「生ごみ専用袋」(生ごみとともに分解する生分解性プラスチック製)を配布。バケツで水切りした生ごみを専用袋で排出
- 排出場所…「燃やすごみ」のステーション
- アンケート回収率…68.2%(1,338世帯)。うち、男性17.9%、女性82.1%。ご協力ありがとうございました。



※1 [1世帯の生ごみ排出量(1ヵ月あたり)] 4kg ÷ [総排出量] 18,580kg ÷ ([試行実施世帯数] 1,963世帯 × [参加割合] 80.9%) ÷ [施行期間] 3ヵ月

※2 [市全体の生ごみ排出量(年間)] 1,200t ÷ [1世帯の1ヵ月の排出量] 4kg × [世帯数] 31,000世帯 × [参加割合] 80.9% × 12ヵ月